

- 問1 645年に起こった政治改革において、中臣鎌足（藤原鎌足）らとともに、権勢を振るっていた蘇我氏を倒し、後に天智天皇として即位した人物は誰ですか。（2023年 沖縄県公立入試 類似）
1. 中大兄皇子                      2. 聖徳太子                      3. 大海人皇子                      4. 足利尊氏
- 問2 飛鳥時代、聖徳太子が小野妹子を中国の隋に派遣した歴史的背景と目的の説明として、最も適切なものはどれですか。（2021年 熊本県公立入試 類似）
1. 菅原道真の提言に基づき、形式的な外交を廃止して国内の政治改革に専念するため。                      2. 阿倍仲麻呂を隋の皇帝に紹介し、日本の律令制度が完成したことを報告するため。                      3. 大陸の進んだ制度や仏教文化を直接取り入れ、天皇を中心とした政治制度を整えるため。                      4. 白村江の戦いでの敗北を受けて、唐や新羅の侵攻に備えた外交交渉を行うため。
- 問3 645年から始まった大化の改新において示された、それまで有力な豪族が私有していた土地や人民を、国家（天皇）が直接支配する体制へと改める方針を何とといいますか。（2021年 和歌山県公立入試 類似）
1. 地租改正                      2. 墾田永年私財法                      3. 公地公民                      4. 版籍奉還
- 問4 7世紀後半、倭国（日本）は友好関係にあった百済の再興を支援するため、朝鮮半島に大規模な軍を派遣しました。しかし、663年に現在の韓国付近の河口で唐・新羅の連合軍と激突し、大敗を喫しました。この出来事を何とといいますか。（2024年 高知県公立入試 類似）
1. 白村江の戦い                      2. 文永の役                      3. 白河上皇の院政                      4. 壬申の乱
- 問5 飛鳥時代、天智天皇の死後にその後継をめぐって起きた大規模な内乱である「壬申の乱」について、その結果と歴史的影響を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2018年 静岡県公立入試 類似）
1. 中大兄皇子が蘇我氏を打倒し、公地公民を基本とする政治改革である大化の改新が始まるきっかけとなった。                      2. 勝利した大海人皇子が天武天皇として即位し、天皇中心の強力な中央集権国家体制を築く基盤となった。                      3. 聖徳太子が推古天皇の摂政となり、冠位十二階や十七条の憲法を定めて天皇の権威を高めた。                      4. 平氏との戦いに勝利した源頼朝が征夷大將軍に任命され、武家政権による統治が本格化した。
- 問6 7世紀初め、聖徳太子が中国の隋に小野妹子らを派遣した外交政策の目的と、その内容を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2026年 栃木県公立入試 類似）
1. 隋の皇帝から日本国王としての称号を得ることで、朝鮮半島での軍事的な優位性を確立するため。                      2. 中国と対等な立場での外交を目指し、大陸の進んだ制度や文化を取り入れて天皇中心の国づくりに役立てるため。                      3. 蘇我氏が大陸との貿易を独占し、天皇を凌ぐ経済力を背景に権力を掌握するための私的な使節とするため。                      4. 日本が中国の属国であることを認め、毎年の朝貢を約束することで日本国内の反乱を抑えるため。
- 問7 7世紀後半に起こった「壬申の乱」の経緯とその結果について述べた文として、正しいものはどれか。名称や関係性に注目して選びなさい。（2024年 高知県公立入試 類似）
1. 聖徳太子が推古天皇の摂政となり、憲法十七条や冠位十二階を制定した。                      2. 桓武天皇が新しい政治を行うため、都を平城京から平安京へと移した。                      3. 中臣鎌足が中大兄皇子と協力して蘇我氏を倒し、大化の改新を開始した。                      4. 天智天皇の弟である大海人皇子が、天智天皇の子である大友皇子を破って即位した。
- 問8 大化の改新を中心となって進めた中大兄皇子は、後に天智天皇として即位し、国内の統治をより強固にするための政策を行いました。その一環として、670年に日本で初めて全国規模で作成された戸籍の名称を選びなさい。（2017年 香川県公立入試 類似）
1. 班田収授法                      2. 大宝律令                      3. 庚午年籍                      4. 庚寅年籍
- 問9 7世紀の日本における政治的な変遷と、その背景について述べた文章として最も適切なものはどれか。（2022年 千葉県公立入試 類似）
1. 白村江の戦いによって朝鮮半島での影響力を拡大させた日本は、蘇我氏を中心とした強力な貴族連合政治を確立し、天皇を象徴とする国家体制を築いた。                      2. 中大兄皇子らは、蘇我氏による権力の独占を打破するために大化の改新を開始し、白村江の戦いでの敗北を契機に、外敵への防衛を意識した中央集権体制の整備を急いだ。                      3. 壬申の乱に勝利した天武天皇は、混乱した社会を鎮めるために聖武天皇の政策を引き継ぎ、全国に国分寺や国分尼寺を建立する詔を出した。                      4. 聖徳太子は、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れたことを受け、仏教の力で国を安定させるために、世界最古の木造建築である法隆寺の建立に着手した。
- 問10 大化の改新から始まる律令制度のもとでは、戸籍に基づいて人々に土地を分け与える仕組みが整えられました。この仕組みにおいて、土地が与えられる対象となる年齢と、その土地が返還されるタイミングの組み合わせとして正しいものはどれですか。（2020年 茨城県公立入試 類似）
1. 6歳以上になったときに与えられ、本人が死亡したときに国へ返還された。                      2. 6歳以上になったときに与えられ、一定の税を納めている限り永久に所有が認められた。                      3. 15歳以上になったときに与えられ、耕作ができなくなった時点で没収された。                      4. 15歳以上になったときに与えられ、本人が死亡したときに家族へ受け継がれた。
- 問11 聖徳太子が小野妹子を隋の皇帝のもとへ派遣した際、国書の中で示した外交姿勢やその目的についての説明として、最も適切なものはどれですか。（2026年 秋田県公立入試 類似）
1. 朝鮮半島での軍事的な優位を保つため、隋に対して援軍の派遣を要請することを目的とした                      2. 中国の優れた制度や仏教文化を学び、対等な立場での国交を結ぶことで日本の地位を高めようとした                      3. 中国の皇帝に臣下として仕えることで、日本国内での支配権を認めてもらうことを目的とした                      4. 唐から戒律を伝える高僧を招き入れることで、国内の仏教界の規律を整えることを目的とした
- 問12 奈良時代の711年に、現在の群馬県高崎市にあたる場所に設置された多胡碑には、ある法律に基づいて新しく郡が置かれた経緯が記されています。この時期に日本が中国の制度を参考にして導入し、全国的な行政組織の整備や中央集権化の根拠となった法律の総称を答えなさい。（2016年 群馬県公立入試 類似）
1. 十七条の憲法                      2. 冠位十二階                      3. 律令                      4. 公事方御定書
- 問13 7世紀から10世紀初めにかけて中国を統一した唐が、当時の日本や東アジア諸国に与えた制度的な影響として、最も適切なものはどれか。（2018年 大分県公立入試 類似）
1. 武士が政治の表舞台に立つ封建制度を確立し、日本における鎌倉幕府の成立に直接的な影響を与えた。                      2. 土地や人民を国家が直接支配し、法律に基づいて統治を行う律令制度を完成させ、周辺諸国の手本となった。                      3. キリスト教の布教とともにヨーロッパの科学技術を導入し、東アジア全域に西洋文化を広めた。                      4. 朱子学を国学として採用し、身分制度を厳格に管理する江戸幕府の統治の仕組みを構築した。